

株式会社サンフレッシュ小泉農園

東北農政局長賞

代表者名：代表取締役 今野 圭市
 所在地：宮城県気仙沼市
 認証：GLOBAL G. A. P. (平成30年)

面積：2ha
 構成員：39名
 栽培品目：トマト

取組の紹介

【生産工程管理の改善の取組】

- 毎月1回、従業員全員で施設内の清掃を実施し、清潔な施設環境や資材の整理・整頓に努めている。
- 栽培エリアの配置図を大きく表示したホワイトボードを用意し、従業員が作業中に気づいた点を随時、記入することで情報の「見える化」を図っている。

【生産効率性の向上の取組と効果】

- 作業内容について、写真や図を用いた分かりやすい資料を作成・掲示し、常に従業員が確認できる状態にすることで、作業の平準化が図られている。

【経営の改善の取組と効果】

- 作物の生育状況や労務に関するデータ、農薬等の在庫管理の記録・分析を行い、問題点の洗い出しと改善を行うことで、収量の向上や水道光熱費等の経費削減効果を確認している。

【地域の内外への波及効果】

- 気仙沼地域において、会社経営にGAPを効果的に取り入れた先進的な事例として、周辺農業者や次代を担う後継者などから注目され、視察研修や取材を積極的に受け入れている。
- また、地元の幼稚園児や小中学生のトマト狩り行事を企画し、職場体験学習の依頼に応じるなど地域への普及活動に熱心に取り組んでいる。



アロハシャツの揃いの制服



毎月一斉の清掃の様子



栽培エリアの配置を「見える化」



「摘花・摘果のポイント」を常に掲示